

ぼくせい

令和4年度 富士市立吉永第一小学校
一学校教育目標一 5月号
「あかるく やさしく たくましく」

150周年に向けて

校長 市川 典秀

本校の学校だよりの「ぼくせい」の名前の由来をご存じでしょうか？

本校は明治6年、明治政府が日本全国の教育制度を整えるために発した教育法令「学制」により誕生しました。このときに、地域の方が校長としてお迎えしたのが生駒藤之先生です。先生は、江戸幕府幕臣の子供として江戸に生まれ、昌平坂学問所で学びました。そして、旧幕臣の子弟教育のために作られた沼津兵学校の教授として勤められ、その後兵学校附属万野小学校の頭取（校長）を勤められました。そして、地域の方々の強い願いを受け、本校の初代校長になりました。以来、明治37年に退職されるまで、31年間に渡り本校の校長を勤めていただきました。本校体育館横に、先生の銅像が立っています。



本校が医王寺を校舎として開校するとき、生駒先生が漢詩の中の一節を取り、校名を「穆清舎」としました。現在でも

仲山甫永懷 以慰其心	吉甫作誦 穆如清風	仲山甫徂齊 式遄其歸	四牡騤騤 八鸞喑喑	穆たること清風の如し	校訓『穆清の心』 大雅
---------------	--------------	---------------	--------------	------------	----------------

本校では、学校教育目標のさらに上位目標「校訓」を『穆清の心』としています。意味は、「よろこび 心おだやかにして 気持ちのよい 風のようなだ」です。このような心穏やかな生活ができる子供たちを育てていこうというのが、校訓に込められています。本校の学校だよりの「ぼくせい」の名前はこのような思いが込められています。本校は、令和5年に創立150周年を迎えます。一年前の今年度は、地域の方々の思いや、開学の精神をもう一度子供たちに伝えていきたいと思ひます。



平成4年度 重点目標 とどけるあいさつ やさしいことば

本年度の始業式で、子供たちと学校教育目標「あかるく やさしく たくましく」と重点目標「とどけるあいさつ やさしいことば」の確認をしました。

毎朝、職員室に特別教室の鍵を取りに来てくれる6年生が、すばらしい挨拶をしてくれます。教頭先生と共に、朝から元気をもたらしているような気がしています。また、廊下ですれ違う子供たちからも、「こんにちは」の挨拶の声がよく聞こえます。先日、来客を校内に案内していたときにも、お客様に対して「こんにちは」の気持ちのよい挨拶が聞かれました。すばらしいことです。また、いろいろな健診のために、保健室の前で待っている子供たちもとっても静かです。もちろん教師の指導もありますが、子供たち自身が考えて動いているようです。やさしい言葉の中で「さん」付けも引き続いて取り組んでいます。教室の中では、「さん」付けがよく聞かれるようになりました。友達と遊んでいるときや放課後には弱さが見られるようですが、このようなときにも定着したときに、本当の力になるのかもしれないと思ひます。

これからも、御家庭の協力をお願いいたします。